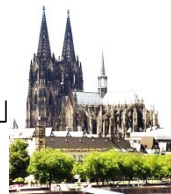




「ライン河畔より」

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」

創世記 12章 1節



ホームページ <http://www.ryokosasaki-missionary.com>

ご挨拶 Guten Tag! 主の聖名を賛美いたします



新しい年もアツという間に2ヵ月が過ぎようとしています。昨年も多くの方々が心寄せてくださり、篤いお祈りと共に尊いお献げものを、心からありがとうございました。今年も引き続き心に留めてくださり、共に宣教の業を担って頂けると幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

今年も任期延長1年目の新たな年となりましたが、昨年アドヴェント直前に脳腫瘍が見つかり、1月2日に入院、4日に手術を受けるという、思いもよらない年明けとなりました。

診断から入院までアツという間の僅かな期間でしたので、前任教会関係者等、極限られた方々にしかご連絡できなかったもので、誠に申し訳ありませんでした。

手術を受けることは廻りの方々に多大なご心配をおかけし、特に教会の方々には大きな重荷を負わせてしまいました。しかし、主の憐れみとお祈り、更に教会の皆様のお支えにより、今は体力も快復して、通常の教会奉仕ができる幸せを噛みしめています。このニュースレターが皆様のお手元に届けられる頃には、例年の如く元気に宣教報告のために、日本に一時帰国していると思います。

診断が下された時、最初に頭に浮かんだのは主の御言葉でした。後になって思ったことですが、御言葉の力によって直面する現実を前向きに捉えることができたので、つくづく信仰者であることの幸いを感謝しました。

『ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。』イエスは答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」ヨハネによる福音書9章2～3節

「私を通してどのように神の御業を現わして下さるのか、主に期待をしていこう」と思われました。そうして毎日に私は主の証人としての使命が与えられたことを、確信してゆくようになりました。更に入院中には再献身の思いが与えられ、新たな思いをもって主と教会にお仕えしたいと願っています。主はこれからどのように用いて下さるのでしょか。更に一緒に主の御導きに期待して頂けると嬉しいです。

Viel Glück.

ドイツより感謝をこめて

ケルン・ボン日本語キリスト教会役員 藤井隼人兄



1月13日・術後病室にて

この度の佐々木先生の手術入院に際し、日本の遠くの皆様は私たち以上に心配なされたことと思います。皆さまの篤いお祈りを感謝致します。

当初先生は日本での入院、手術も一つの可能性として検討しておられましたが、医師や病院探し、医療保険の問題等からドイツでの手術を決断されて本当に良かったと思っています。

同じケルン市内の病院で1月早々の入院が可能となり、しかも佐々木先生が一番心配しておられた言葉の問題も、日本人脳外科部長の執刀ということで、全て完璧に備えられた環境での手術でした。

退院後の回復も目を見張るほど順調で、3月の宣教報告のための一時帰国も問題なく実現しそうです。先生の明るく前向きな姿に神への揺ぎない信頼を感じています。先生は「私は、神様にエゴヒキされているみたい。」と仰っていますが、本当にこれ以上ない素晴らしい条件が与えられ、私たちはこれこそ「ドイツでの伝道牧会を続けなさい」との御旨であると信じています。

今回の入院・手術は、この3月末で佐々木先生の当初任期の3年間が終了し、4月から更に3年間伝道牧会を当地で続けて頂く前の「オーバーホール」であったのだと思います。支える会からの支援金も4月から増額して頂くことになっており、皆様のご負担が増えますが、佐々木先生を中心に教会員一同ますます伝道に励む所存ですので、引き続きご加禱、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

「佐々木良子宣教師を支える会」からのお礼とお願い

会長 物井恵一兄

常日頃佐々木良子先生の働きにお心遣いを頂き、お祈りとご支援を賜り、心から御礼申し上げます。佐々木先生は脳腫瘍を患われましたが主はどこまでも先生に寄り添い、病を通して主に信頼する素晴らしさを私たちに教えて頂きました。昨年アドヴェントの頃に突然、先生から電話を頂きました。これから手術を受けなくてはならず、言葉の問題等から日本での手術を一時考えたそうですが、ドイツ語の堪能なケルン・ボン教会の皆様が交代で病院に泊まり込んで全面的にお支えくださる、と言うことに後押しされて、ドイツで手術を受けることを決断されたということでした。

主は見事に最善を為して下さり、更に私たちの思いをはるかに超えてドイツにいながら日本人の脳外科部長が執刀して下さると伺い、喜び一杯、ハレルヤと叫びました。それから主のなさることを一斉メールでお知らせし、祈って頂くことにしました。皆様からのお祈りと励ましの返信を心から御礼申し上げます。短期間での出来事でしたので、ご案内できなかった方もいらっしゃいます。どうぞお許しください。

さて、既にご案内しておりますが、先生の任期が3年延長され、本年4月から新しい1年目に入ります。しかし、ケルン・ボン教会の財政状況により、先生をお支えするには日本からの支援金の増額が必要になります。誠に恐縮ではございますが、皆様のお力添えが頼りとなりますので、どうぞご理解と共に引き続きお祈りとご支援をいただきたく伏してお願い申し上げます。これまでもお支えくださっている皆様の上に、主の祝福が豊かにありますようにお祈りしております。

主の奇跡の御業と皆様のお祈りに感謝いたします

脳腫瘍の診断：11月26日～27日

昨年9月末頃より右目が霞み、視力低下を感じて、眼科で診察を受けましたが目の異常は見当たらず、眼科医の判断は脳に問題があるのではないかと、翌日にMRI、CTスキンの撮影した所、脳腫瘍が発見されました。

ケルン市立総合病院 脳外科：12月5日

早速に脳外科病院を紹介頂きましたが、セカンドオピニオンを受けた方がよいのか、又、言葉の問題を考えると日本で手術を受けた方がよいのか等、迷った時もありました。そのような時に言葉の問題であれば、教会の方々が交代で泊まり込んで全面的にお支えくださる、という後押しを頂き、ドイツでの手術を決断しました。

日本人医師との出会い

決断直後、留守する間の礼拝説教をY先生にお願いしたく状況をお話したところ、教会員の方のご子息がケルンの総合病院で脳外科の主任教授をされているという事で、直ぐに紹介して下さり、話が急展開していきました。その先生がおられる病院は、眼科医が紹介して下さった病院でもありました。全てが主によって一つ一つ導いてくださることに、教会の方々と共に賛美し感謝を捧げました。

主の御業の奇跡は廻りの方々の深い愛の賜物

「もし、私が赴任していなければ、教会にこのようなご迷惑をおかけすることはなかったのに・・・」と、大きな重荷を負わせてしまった申し訳なさで一杯で、お詫びしたところ「迷惑だなんて誰も思っている人はいないのでから、迷惑と言わないでください!」「私たちは神の家族です」と、叱られました。

教会の方々の愛によって、既に癒されたも同然でした。このような世界一の家族が与えられている私は、何と恵まれている牧師かと、しみじみと幸いを噛みしたものです。教会の方々を初め、廻りの方々の深い大きな愛が、主の御業の奇跡を起こして下さったと実感しました。

入院：2019年1月2日

年明け早々、教会の方々に付き添われて入院の手続きや、手術のための様々な検査をして4日の手術に臨みました。シャワーに入っていた時に、間違っってナースコールを押してしまい、忙しい看護師さんに、間違っったというも申し訳なくて、慌てて「バスマットがありません」と言い訳をしてしまいました。(でも、本当になかったことは事実です)

手術のことは全てをお任せしていたので何も心配はなく、留守する教会も信徒の方々がしっかり守ってくださるので、私の唯一の心配事はというと、食べ物のごことでした。

三度のドイツ食では喉が通らないと思い、インスタント味噌汁等、日本食を袋一杯に用意したら、教会の方々に「入院するのに食べ物を持っていく人は初めて見た! ピクニックに行くわけではないのに・・・どこまで能天気な先生」と呆られました。そうなんです、皆様のご心配をよそに、申し訳ないほどお気楽な私でした。



手術：1月4日

前夜に手術着を渡されたのですが、どちらが前か分からず聞きに行った所、私が想像していたのとは逆だったので、恥をかかずにすみしました。

手術室で麻酔をかけるという説明でしたが、病室で睡眠導入剤を飲んだらしく? 私の記憶はそこから全くありませんでした。

四時間程の手術で、その日は集中治療室に入りました。昼過ぎには手術は終わったそうですが、私は夕方五時過ぎまで眠っていて、肩を叩かれながら名前を呼ばれて起こされ、朦朧とする中いきなりドイツ語で「ここはどこか、何故あなたはここに居るのか、今年は何年か」とテストされ、次に運動機能のテストでしょうか、手や足を動かしました。初めに嬉しかった事は、目を開けた途端、霞んでいた目がはっきりと見えるようになったことでした。腫瘍は良性で全て摘出して頂き、新しい命を頂いた思いになりました。

回診

7時と14時の2回、直接日本語で先生から、病状の説明を受けることができるので、恋人を待つような思いで先生をお待ちしていました。

退院：1月19日

多くの方々のお支えにより、家に帰ることができ、普通の生活ができることがどれほど幸せか、ということ改めて実感しました。

三姉妹!
お迎えにいらしてくださった
教会の方々と共に。



絆

この一連のことを通して、教会の方々ととの関係が主を中心として、更に深い絆で結ばれていることを深く思いました。病院通いは当分続き、皆様に頼らないとまらない生活が続きますので、愛する神の家族に弱さをさらけ出しながら、もう少し甘えさせて頂きます。この絆を大切にしながら教会の方々と共に、一步一步教会形成のためにお仕えしたい、という思いでいっぱいです。そのことを思うとドイツでの手術の決断は、神様からの最高のプレゼントでした。

退院の翌日の聖日 幼児祝福式：1月20日

当初、説教は無理だろうと、代読して頂く予定でしたが、思ったより体力もあったのと、どうしても教会の方々と礼拝を共にお献げしたく、座って説教を語らせて頂きました。その日は普段お出でになれないご家族もいらっしゃるだったので、急遽二人目のお子さんの祝福式も行うことができました。教会に戻ることで、感激の退院祝いとなり主と皆様に感謝致します。



これまでの歩み

★教会員H姉の追悼式 9月2日 告別式・埋葬式9月11日

元気のよい大阪弁のH姉が突然召され、教会員一同驚きと共に寂しさは募るばかりでしたが、姉妹が生前望んでおられた通りアツという間の凱旋でしたので、主に感謝して天国へ送りました。私にとっては初めてのドイツ式の一連の葬儀でしたので戸惑いつつも、いつも教会をお借りしているドイツ人の先生から手順や式文等教えて頂き助けられました。

★日本基督教団総会出席 宣教報告 10月24日

海外教会の現実を多くの方々に知って頂くことができました。これからも海外教会に目を向けて頂けたら幸いです。

★第38回バザー 11月1日

今年も多くの方々のご協力を得て4,136.90€(純益)を『Brot für die Welt』の活動に献金することができ感謝でした。

★欧州教職者研修会 11月5～8日

1年に1度、欧州の教職者が集える唯一の学び会です。同労者から励ましやビジョンを頂けて励まされています。

★ママの子育ての学び会・読書会 クリスマス会 12月10日



今年は新しいメンバーも加わり、聖書も共に読むことができ福音に触れる良い機会となっています。もう一步踏み込めるとよいのですが・・・祈りながら神の時を待っています。

外国の地ならではの、子育ては大きなストレスになりますが、発散し、リフレッシュできる場として用いられています。

★幼児洗礼式 12月11日



礼拝にて、ドイツ人のパパと日本人のママを持つボンヘッファー教会幼稚園児Y君が、証人、教会の方が見守る中、ドイツ教会に倣って洗礼を受けられました。主の大いなる祝福が会堂に溢れました。ドイツでは12歳になる前に2年間教会で学びをしてから、日本でいう信仰告白式を受けます。Y君の告白式まで証人となった方が信仰の親として責任を持ちます。

★子どもと合同のクリスマスページェント礼拝 12月16日

初めての試みで、子どもの教会に集っておられるご家族と、教会員が共にイエスさまのご降誕劇を行うことができました。夏前から若いファミリーが中心となって、音楽や舞台の背景などを作成してくださりかづけられました。ヨセフ、マリア役のお友だちは沢山のセリフを事もなげに、しっかりと覚え堂々たるものでした。大人もそれに劣らず、なかなかの演技派で見事に演じられました。又、子どもの賛美として、心温まるリコーダー、ピアノの演奏、特別賛美として、音楽家ご夫妻によるヴィオラとピアノの演奏は、皆様吸い込まれるように聞き入っていました。来年もやる気満々、楽しみです！



演技派の羊飼いさん



可愛い天使さん

これからの主な予定 & 祈 禱 課 題

日本へ一時帰国・宣教報告 お招き有難うございます

これからもどうぞお祈りよろしく願いいたします

2月28日～4月3日 滞在

- 3月3日 喬木教会 主日礼拝説教・報告会
- 6日 京都復興教会 祈禱会・報告会
- 10日 国際基督教団代々木教会 主日礼拝説教・報告会
- 13日 柏教会 祈禱会・報告会
- 14日 東京新生教会 祈禱会・報告会
- 15日 グッドサマリタンチャーチ訪問
- 17日 西宮一麦教会 主日礼拝説教・報告会
- 20日 洗足教会 祈禱会・報告会
- 24日 小松川教会 主日礼拝説教・報告会
- 26日 日本同盟キリスト教団川奈聖書教会 火曜礼拝・報告会
- 27日 深沢教会 祈禱会・報告会
- 28日 志木教会 祈禱会・報告会
- 31日 荒川教会 主日礼拝説教・報告会

1. 佐々木宣教師の健康が支えられて、謙虚に主と教会にお仕えしていくことができますように
2. 日本で支援してくださっている教会、支援会の方々の上に主のお恵みの御業がなされますように
3. これからも教会が主によって守られ教会の方々と共に霊的に成長していけますように。
4. 新しい地で始まる、聖書の学び会が祝福されますように
5. 子どもの礼拝・ママの子育ての学び会・読書会においてになっている方々が信仰を持つことができますように
6. 手術の執刀して下さったお医者様が教会においてになれますように

主に在ってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から感謝します。

収 入 (単位:円)		支 出 (単位:円)	
月額献金	1,862,600	宣教師支援金	924,552
特別献金	80,000	支援金(社会保険料)	97,740
クリスマス献金	164,000	ミニバザーグッズ	77,299
ミニバザー売上金	94,450	教会使用感謝献金	35,000
指定献金(お見舞い)	77,000	ニュースレター5号発行	49,961
夏期感謝献金	8,000	支援金(クリスマス献金)	159,000
雑収入(受取利息)	10	支援金(お見舞い)	77,000
		事務通信費	6,985
		10月一時帰国費用	28,709
		委員会費	3,240
		雑費(振込手数料等)	9,832
小 計	2,286,060	小 計	1,469,318
前月繰越	7,968,606	次月繰越	8,785,348
合 計	10,254,666	合 計	10,254,666

献金者 ご芳名 (敬称略 五十音順) 2018年8月1日～2019年1月31日受領分

月額献金

相原美枝子 青池直録 阿部順子 石井泰子 石川徹 石川真知子 石崎孝司 糸魚川喜一 伊藤 愛 伊藤いづ子 伊藤君江 伊藤恵子 伊東みどり 伊藤祐子 井上 馨 井深裕子 上杉洋子 上杉真子 内城節子 浦川恵子 生間元達 榎本明子 榎本康治 大橋久美子 大淵美智子 岡崎 響 越智香歩理 加賀谷則子 鹿郷雄通 片山まどか 桂川信子 加藤弥生 金子英市 金子民子 金坂久子 金田佐久子 神尾祐美子 川浪聖志 川浪麻理子 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 空閑信憲 奇 老花 熊谷千鶴子 小泉 誠 小泉真理 河野有紀 小林興司 小林信夫 小宮房江 佐伯千恵子 柴 直美 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 齋藤佐代子 笹本 宏 佐藤節子 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤保太郎 佐野明子 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 汐碓直美 部 利勝 部 清江 篠原照美 島田雅子 嶋 優子 島 隆三 島 静江 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 菅谷さと子 鈴木功男 鈴木 勇 鈴木 啓 鈴木洋史 鈴木敏男 鈴木初子 鈴木諭香子 鈴木優子 春原禎光 曾根邦彦 染野和美 高野加奈子 高橋みどり 田島俱子 蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 鶴巢香穂利 鶴巢和徳 永井美智子 長瀬信義 中村廣子 西村倭子 抜井太一郎 抜井教子 野村啓二 原嶋和夫 原田時近 原田明子 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 福田芳雄 藤野洋子 藤本三四四 藤本律子 藤森知子 藤谷正一 星野 環 細田多恵子 細野紀久子 堀江直子 本田昌義 榎本早苗 明瀬真弓 松井美代子 松永映子 松丸香世子 松本幸子 皆川昌子 箕輪幸子 宮本峯子 宮本容子 村松紀子 室井信子 物井恵一 物井ますみ 森田聖子 森 浩 森川頌子 森山和彦 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 八巻君子 山口スミエ 山口紀子 山崎広子 山下 誠 山田 進 山田千代子 山根芳枝 山畑映子 山本房枝 横内希久子 横山義孝 横山勝よ 吉田陽子 嘉本 保 和海豊子 渡辺すみ子 渡部裕子 和田洋子

赤羽教会 荒川教会 京都復興教会 小松川教会(恒励会 婦人会 マリア会) 清水が丘教会海外宣教会 日本キリスト伝道会 天門教会

特別献金

石崎孝司 伊東理津子 金森勝芳 木下宣世 鈴木功男 高野加奈子 辻浦健久 森野善右衛門 柳瀬明子 匿名1名
浅草教会 糸満シーガイドチャペル 亀戸教会 志木教会

夏期感謝 相良佳子 深沢 修

クリスマス献金

相良佳子 佐藤誠 辻浦健久 鶴巢香穂利 深沢 修 山根芳枝 柏教会 塩谷一粒教会 清水が丘教会海外宣教会 洗足教会オーブの会 三崎町教会

指定献金 (お見舞い)

金森勝芳 佐藤 誠 澤田 武 高野加奈子 鶴巢香穂利 西村倭子 抜井教子 皆川昌子 物井恵一 物井ますみ

献 品 秋元久恵 石川真知子 小塩 節 北野順子 鈴木優子 蓼沼百合子 鶴巢香穂利 西村倭子 山本史子 匿名1名

※月額献金一括の方は受領した時点で記載しておりますのでご了承ください。

お名前が洩れた方がありましたらお知らせください。

編 集 後 記

主の御名を賛美致します。早いもので、佐々木先生がドイツに赴任してから3年が経とうとしています。会計担当としては、果たして毎月きちんとドイツに送金できるのかと不安でしたが、神様は佐々木先生のドイツでの働きを大いに祝福され、一度も滞ることなく送金できました。神様の御業と、皆様のご支援・お祈りに感謝致します。任期は更に3年間延長となりました。2019年度からは、佐々木先生の伝道活動やケルン・ボン日本語キリスト教会のご様子を、支援して下さる皆様にもっとタイムリーにお伝えできるよう、メールマガジンを発行予定です。どうぞお楽しみに。引き続きご支援とお祈りをよろしくお願い致します。(香)

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ
<http://www.ryokosasaki-missionary.com>
ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://koelnbonn.jp/>

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一
〒134-0081 東京都江戸川区北葛西 4-3-9・小松川教会内
Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-526
Email: support@ryokosasaki-missionary.com

送金先 郵便振替: 00120-3-450845
銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店 店番463
(普通)口座 0113856
*上記口座名義: 佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一
*定期的毎月献金-口 1000円から・随時自由献金

佐々木良子宣教師ドイツ連絡先
Br eslauer Str.26, 50858 Köln Germany
Tel: +49 2234 9298792 +49 1512910 6278
E-mail: r310130s@yahoo.co.jp